

D チームの人数によって、役割ごとの人員配置は以下の通りとする。試合開始前にオーダー表に記入し、司会に提出する。

<3名チームの場合>

インタビュータイムで質問する人	1名
審査員からの質問に答える人	1名
ファイナルプレゼンテーションを行う人	1名

<4名チームの場合>

インタビュータイムで質問する人	1名
審査員からの質問に答える人	1名
ファイナルプレゼンテーションを行う人	2名

<5名チームの場合>

インタビュータイムで質問する人	2名
審査員からの質問に答える人	1名
ファイナルプレゼンテーションを行う人	2名

E 試合中は、試合内容や気付いた点などについて、所定のメモ用紙にメモを取る。試合終了後に回収する。

F ファーストプレゼンテーションでは、午前中に作成した模造紙と付箋を使ったプレゼンテーションシートを掲示し、必ずチームメンバーが一度は発言する時間を設けることとする。時間配分は自由。

G インタビュータイムは、相手のプレゼンテーションで十分に理解できなかった点の確認を目的として行う。質問は2人が1つずつ行い、相手のプレゼンテーションの良さを引き出したり、説明不足を解消したりするような質問を高く評価し、相手を言い負かすような強い質問や、自分の意見を押しつけるような質問は低く評価する。なお応答は誰が行ってもよいものとする。

H 審査員質疑は、抽選で選ばれた審査員（予選は主審）からの質疑に対しチーム全体で回答をまとめ、代表者1名が回答する。

I ファイナルプレゼンテーション決定じゃんけんでは、じゃんけんに勝った順にプレゼンテーションの順番を決められることとする。

J ファイナルプレゼンテーションでは、プレゼンテーションシートを元にし、試合中の質疑応答で指摘された内容を加味して、審査員にセールスポイントを訴えかけるものとする。

K プレゼンテーションシート点では、アイデア、説明内容、見やすさ、工夫のなされ方を審査項目とする。なお、プレゼンテーションシート点は、予選の試合終了段階時に審査員全員で審査し、各審査員の平均点数（小数点第二位四捨五入）を予選・決勝共に付与する。

L 試合は、各チームのプレゼンテーションシート点、ファーストプレゼンテーション点、インタビュータイム点、審査員応答点、ファイナルプレゼンテーション点の合計点で審査し、点数が上位のチームを勝利と判定する。仮に同点となってしまった場合は、①プレゼンテーションシート点、